

保証書

この保証書とお買い上げ時の販売証明書またはレシートを保管してください。
お買い上げ時の販売証明書またはレシートの日付から6か月間保証致します。
お買い上げ時の販売証明書またはレシートがない場合は保証致しかねますので予めご了承願います。

保証内容

1. 通常使用により万一、不具合が生じた場合は本保証書により無償で修理致します。
2. 保証期間が過ぎた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償で修理致します。
3. 保証書は再発行致しませんので大切に保管願います。
4. 保証期間内でも次の場合は有償となりますのでご了承願います。
 - 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 車両・船舶などに備品として使用した場合に生じる故障および損傷。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
 - 取り扱い上の不注意や誤った使用方法による故障および損傷。
 - 天災や保管上の不注意による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送や移動時、落下などによる故障および損傷。
 - 弊社指定以外の修理人による修理または改造による不具合。
 - 保証書(お買い上げ時の販売証明書またはレシート)の提示がない場合。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

販売証明書(またはレシート)貼付欄

保証期間(本体)	お買い上げ日より6か月
お買い上げ年月日 年 月 日	
品名/ 振動ドリル 型番/ KM-500	
※●お客様	ご住所 <input type="text"/>
	電話 ()
お名前 様	
※●販売店	住所・店名・電話

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 修理のために、当社から修理委託している保安会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。
- 保証期間内に転居する場合、贈答用としてご購入する場合などにおいて、保証書の記載事項の変更が必要な場合は、その手続きをお願い致します。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

輸入元 青島商事株式会社

〒567-0825 大阪府茨木市園田町 8-18 4F
TEL: 072-648-5811
FAX: 072-648-5822
MADE IN CHINA

LIFELEX 振動ドリル KM-500

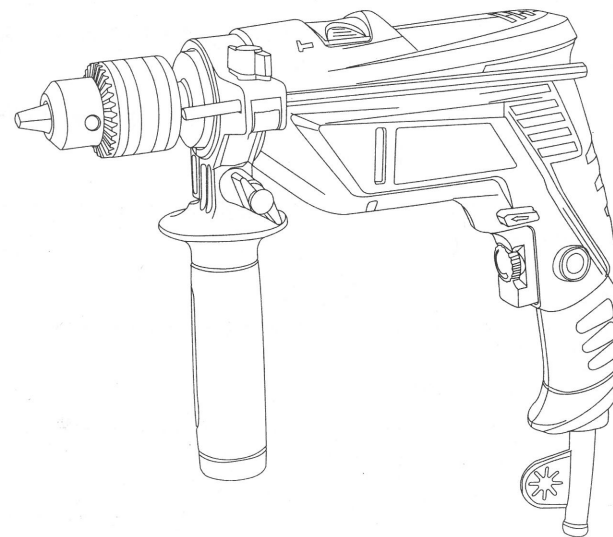
DIY 用



二重絶縁

アース(接地)不要です。
電気用品安全法に基づく技術基準に適合して製造されています。

取扱説明書



この度は「振動ドリル - KM-500」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後はいつでも取り出して確認できるよう大切に保管をしておいてください。
本品はDIY商品として開発された商品です。一般家庭用としてご使用ください。

ご使用上の注意

本製品を正しく安全にお使い頂き、ご自身や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」・「注意」の表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

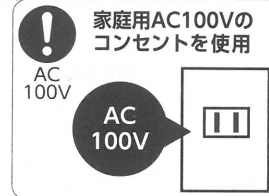
警告

- 作業場はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになるような物は取り除いてください。
- 揮発性可燃物(ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など)、揮発性ガス・引火性ガス(アセチレン・プロパンガス)のない場所で使用してください。(爆発・火災の原因になります。)
- 濡れた所や湿気の多い所、雨中では使用しないでください。(感電、故障の原因になります。)
- 作業場所に関係者以外は近づけないでください。特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
- 作業に適した服装で作業してください。ネクタイ・ネックレス・手袋・袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
- 作業の時は、必ず保護メガネを着けてください。作業環境によっては、保護マスク・保護帽・耳栓・安全靴をご使用ください。
- 防音保護具を着けてください。
 - 騒音の大きい作業の時は、耳栓、イヤークッションなどの防音保護具を着けてください。
- ご使用前に製品に損傷がないか確認してください。
 - 本製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆがみ・ひび割れ等の異常がないことを確認してからお使いください。(事故やケガの原因になります。)
 - ご使用前には必ず試運転を行い、製品の破損・ゆがみ・ひび割れ・異常音・異常振動などがないことを確認してからお使いください。(事故やケガの原因になります。)
- 調整や点検に使用した工具は必ず取り外してください。
- 本製品の通気孔はモーターを冷やすために必要です。布などで覆ってふさがないようにしてください。(火災の原因になります。)

ご使用上の注意

警告

- 使用電源は必ず本製品に表示されている電圧(家庭用AC100V)でご使用ください。(事故や故障の原因になります。)
 - 発電機やインバーター電源・仮設電源、昇圧器からの電源供給はしないでください。(故障の原因になります。)
- 作業するところに電線管、水道管、ガス管などの埋設物がないことを作業前によく確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れて感電や漏電、ガス漏れなど事故の原因になります。
- 感電に注意して下さい。
 - 使用中、身体をアース(接地)されているものに触れないようにして下さい。(パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など)
- 電源コードの取扱いに注意してください。
 - ご使用前に、電源コード・電源プラグの点検を行い、破損・損傷がないことを確認してください。
 - 電源コードを熱のある所、角のとがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因になります。)
 - コンセントから電源プラグを抜き差しする時は、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(電源コードの破損の原因になります。)
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - 本製品を移動する場合や付属品を交換する際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- シリカや石綿は人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工する時は防じん対策をしてください。
- 材料を加工する作業では、加工物をクランプや万力でしっかりと固定してください。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 機体の作動部には触れないでください。
 - 作業中回転部やその付近に手、身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因になります。)
- 作動している状態のまま放置しないでください。
- 火傷に注意してください。
 - 作業直後は、本体モーター部や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接肌に触れないようにしてください。
- 用途以外での作業には使用しないでください。
 - 本製品の能力以上の作業には使用しないでください。モーターをロック(拘束)させるなどの無理な使用はしないでください。
- 定格時間以上の連続作業はしないでください。(故障・破損の原因になります。)



ご使用上の注意

⚠ 警告

- 定期的に点検をおこなってください。
 - 定期点検は、電源プラグがコンセントから外れていることを確認してからおこなってください。
 - 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合は、取り除いてください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- 誤って落としたりぶつけた時は破損がないかよく点検してください。
 - 破損があるとケガの原因になります。
- 使用中、本製品に不具合が生じたり、異常音が生じた時は、直ちにスイッチを切り、使用を中止してください。
 - 修理はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 使用しない時は、お子様の手の届かない安全な場所で保管してください。
 - 温度・湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光のあたる所は避けてください。
- 分解・改造をしないでください。
 - 本製品にはいかなる改造も加えないでください。(事故、ケガの原因になります。)
 - 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理をしないでください。



⚠ 警告

電源プラグをコンセントに差し込む前に次のことを確認してください。

- スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチ固定ボタンが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、離れた時にスイッチが戻ることを確認してください。
- 電源を確かめてください。
 - 必ず本製品に表示されている電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり本製品が破損する恐れがあります。発電機やインバーター電源・仮設電源、昇圧器からの電源供給はしないでください。(故障の原因になります。)
- コンセントを確かめてください。
 - 電源プラグを差し込んだ時にグラグラしたりすぐ抜ける場合は、コンセントの修理が必要です。電気工事店などにご相談ください。

⚠ 警告

製品に損傷がないか点検してください。

- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- 故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

騒音防止について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけるよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

本製品のご使用上の注意

⚠ 警告

- ドリルチャックの開閉は、必ずチャックハンドルを使用し、手で行ってください。回転をさせて開閉すると、力がかかり過ぎるためチャックがロックし使用できなくなる恐れがあります。
- 先端のツメ部に切クズや砂などゴミが入らないように注意してください。ゴミが入った場合は、電源を切り逆さまにして取り除いてください。
- 高所作業の時は、下に人がいない事を確認してください。また、電源コードを引っ張ったり、引っ掛けたりしないでください。
- 使用中は振り回されないように必ずサイドハンドルを取り付け、本体を両手で確実に保持してください。
 - 保持していないとケガの原因になります。

● 延長コードを使う場合

⚠ 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

- 電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。
 - 右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ (mm ²)	最大長さ (m)
1.25	15
2	30

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。異なった部品と交換したり、間違っ て組立てると、二重絶縁構造ではなくなり危険です。電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店にご依頼ください。

漏電遮断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電遮断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電遮断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

穴あけ能力

木材	φ25mm(厚さ30mm以下)
鉄工	φ10mm(厚さ5mm以下)
コンクリート	φ13mm(深さ30mm以下)

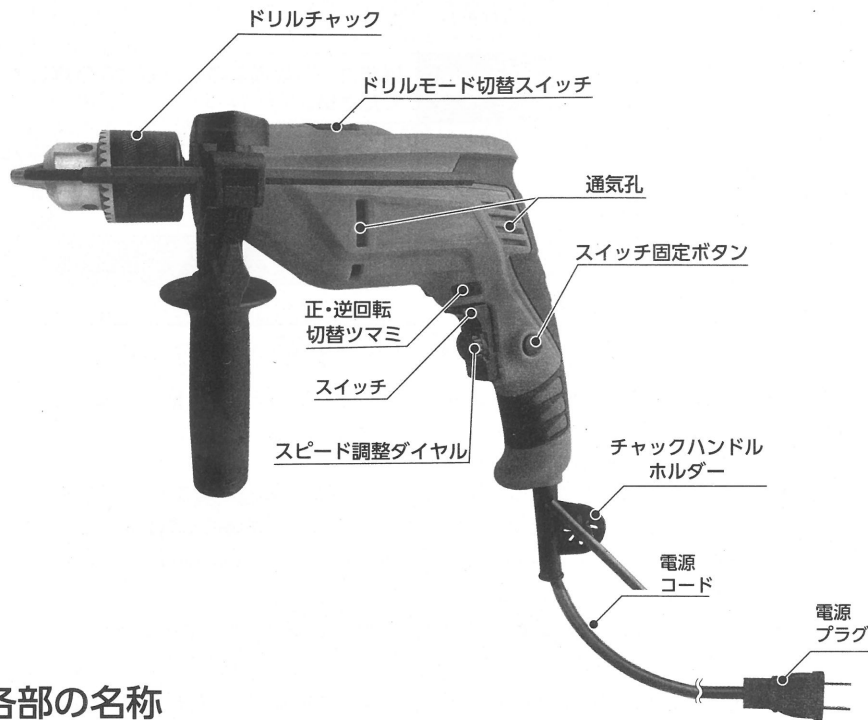
用途

- 木材の穴あけ
- 金属の穴あけ
- コンクリート、レンガ、ブロックなどの穴あけ

仕様

電圧	AC100V	チャック能力	1.5~13mm
周波数	50/60Hz	コード長(約)	2m
電流	5.3A	定格時間	20分
定格消費電力	500W	本体サイズ(約)	長さ268×幅63×高さ209mm
無負荷回転数	約0~3,000min ⁻¹	質量(約)	1.85kg
打撃数	約0~44,000bpm		

※商品改良の為、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。



各部の名称

- ディプスアジャスタ x1
- サイドハンドル x1
- チャックハンドル x1

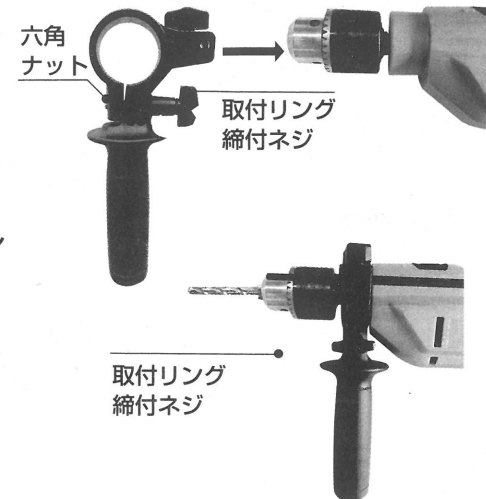


付属品

サイドハンドル・先端工具の取り付け・取り外し方

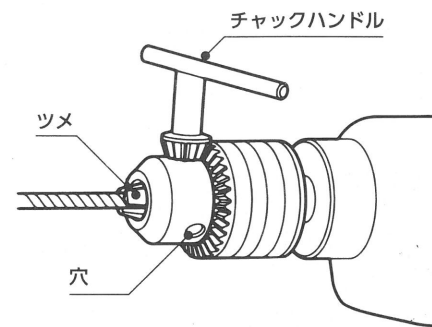
● サイドハンドルの取り付け方

1. サイドハンドルの取付リング締付ネジを反時計方向に回してゆるめます。回している時に、六角ナットが脱落しないように注意してください。
2. 本体のプラスチック筐体にサイドハンドルを合わせて奥まで差し込みます。
3. サイドハンドルの取付リング締付ネジを時計方向に回し締付けて、確実に固定してください。



● 先端工具の取り付け・取り外し

1. ドリルチャックの3か所の穴いずれかにチャックハンドルを差し込み、反時計方向に回すとドリルチャック先端のツメが開きます。
 2. 先端工具を差し込み、ドリルチャックの3か所の穴のいずれかにチャックハンドルを差し込み時計方向に回して軽く締めます。この時、先端工具がチャックの中央に配置されていることを確認してください。
 3. 3か所の穴すべてを均等に締め付けます。
- ※先端工具を外す時は、ドリルチャックの穴にチャックハンドルを差し込み、反時計方向に回します。



穴あけの用途に合った先端工具を選んでください。※先端工具は別売りです。
(コンクリートドリルの取り付け軸はストレートシャンクのみ)

- 木材の穴あけ……………木工用ドリル
- 金属の穴あけ……………鉄工用ドリル
- コンクリート・レンガなどの穴あけ……………コンクリート用ドリル





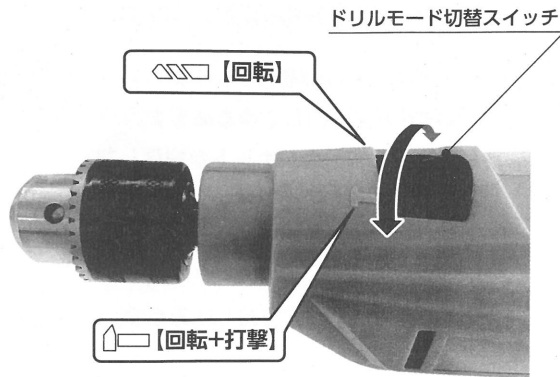
警告

先端工具の取り付け・取り外しの時は、必ずスイッチを切り電源コードをコンセントから抜いてください。

操作方法

●ドリルモード切替スイッチ

1. 【回転】モードの場合は、マークにスイッチをスライドさせてください。
回転のみで打撃はありません。金属・木材への穴あけを行えます。
2. 【回転+打撃】モードの場合は、マークにスイッチをスライドさせてください。
回転と打撃の力が働きます。コンクリートなどへの穴あけを行えます。



※⇒矢印方向へ押すとスイッチがスライドし、ドリルモードが切り替わります。

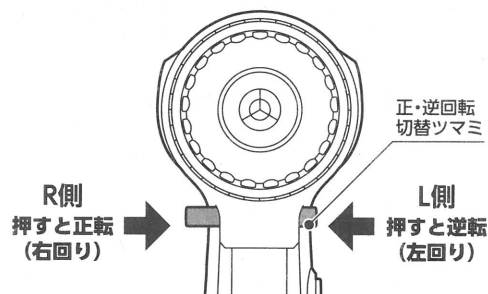


注意

- 回転のみの作業(金属・木材への穴あけなど)を【回転+打撃】モードで行うと、先端工具を傷めます。
- ドリルモード切替スイッチはモーターの回転が完全に停止した状態で操作してください。

●回転方向の切り替え

1. 正・逆回転つまみで、回転方向の切り替えができます。
正・逆回転切替つまみは、完全に押し込んでから使用してください。



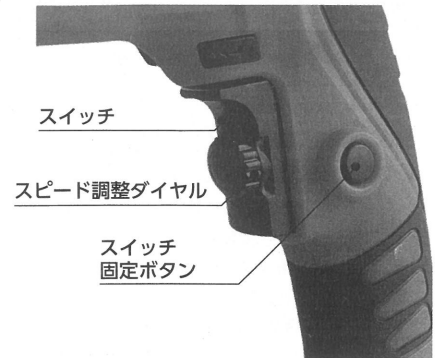
警告

正・逆回転切替つまみは、モーターの回転が完全に停止した状態で操作してください。

操作方法

●回転スピードの切り替え

1. スピード調整ダイヤルを「-」に回すと回転が遅く、「+」に回すと回転が速い設定になります。
2. スイッチを引くと回転し、離すと止まります。
3. スイッチを強く引いた状態で、スイッチ固定ボタンを押すと、スイッチは固定されます。

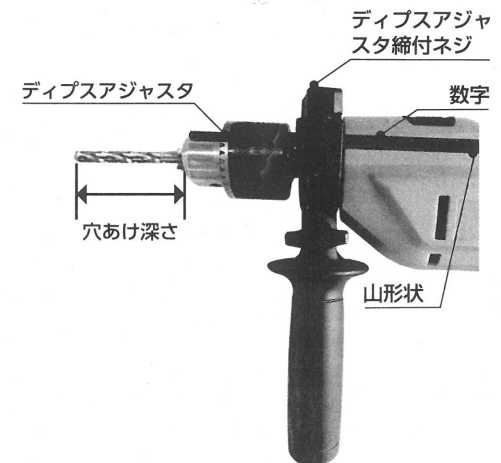


再度スイッチを引くとスイッチ固定ボタンは解除され、スイッチから指を離すと電源が切れます。

作業方法

●ディプスアジャスタの使用法

1. 穴あけの深さを調節する場合に使用します。ディプスアジャスタ締付ネジを反時計方向に回してゆるめて、ディプスアジャスタを六角穴に差し込みます。数字が上端で山形状が下端に向いて、ディプスアジャスタの位置を注意してください。
2. 穴あけ深さに応じた位置に調整して、ディプスアジャスタ締付ネジを時計方向に締め付けて、ディプスアジャスタを固定してください。



作業方法

警告

電源プラグをコンセントに差し込む前に次のことを確認してください。

1. スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチ固定ボタンが押されたままになっていないか、一度スイッチを引き、離れた時にスイッチが戻ることを確認してください。
2. 電源を確かめてください。
 - 必ず本製品に表示されている電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり本製品が破損する恐れがあります。
3. コンセントを確かめてください。
 - 電源プラグを差し込んだ時にグラグラしたりすぐ抜ける場合は、コンセントの修理が必要です。電気工事店などにご相談ください。

【回転】モードで使用する

金属・木材・プラスチックなどの穴あけ

●金属などの穴あけ

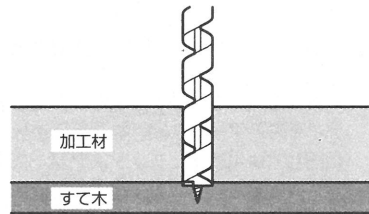
1. ポンチなどで穴あけ位置にくぼみをつけ、そのくぼみに鉄工ドリル刃の先端を当てて穴あけを行ってください。また、切削油を使用するとスムーズに行えます。

●木材などの穴あけ

1. 木工ドリルの先端を穴あけ位置に軽く当て、まっすぐに保ってスイッチを入れます。回転が十分に上がってから少しずつ穴あけを始めてください。

ポイント

加工材の下に不要な木材(すて木)をあて、一緒に穴をあけると加工材裏側にバリが出にくきれいに仕上がります。



注意

- 穴あけ作業中は、本体を確実に保持してください。確実に保持しないと振り回されケガの原因になります。
- 使用直後の先端工具や切りクズは非常に熱くなっています。絶対に触れないでください。火傷の原因になります。

【回転+打撃】モードで使用する

コンクリート・レンガ・ブロックなどの穴あけ

1. ドリルはコンクリート用などの専用ドリル刃を使用してください。
2. 深い穴を開ける際粉じんが穴が詰まってしまう場合は、ドリルを回転させながら2~3回穴から出し入れして粉じんを排出してください。
※穴に粉塵がたまると穴あけ能力が落ちます。

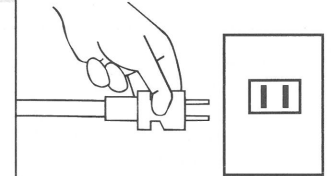
ドリルモード切替スイッチは 

保守と点検

注意

整備点検・部品交換の際は、必ずスイッチが切れていることを確認し、電源プラグをコンセントから抜いてください。抜くときは、電源プラグを持ってください。

電源プラグを必ず抜く



●お手入れ・点検

- 乾いた布か食器用中性洗剤をつけた布で油污れなどを拭き取り、使いやすい状態にしておいてください。
- ガソリン・シンナー・石油類での清掃は本体を痛めるのでおやめください。
- 水洗いは絶対にしないでください。
- ネジなどのゆるみがないか確認し、ゆるみがある場合は締め直してください。

●モーター部の取扱いについて

- モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、注油および水をつけないように十分注意してください。
- ⑧ゴミやほこりを排出するため、作業が終わりましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの吸気側の通気孔から吹き込んでください。モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。

●ドリルビットの点検

- ドリルビットの切れ味が悪くなったまま使用すると、モーターに負荷をかけることになり効率も落ちますので、早めに研磨するか新品と交換してください。

●保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- お子様の手の届く場所や、落下の恐れのある場所には保管しないでください。
- 熱源の近く、湿度の高いところ、温度変化の大きい場所には保管しないでください。

●トラブルの原因と対策

症状	原因	対策
モーターが動かない	モーター・スイッチの故障	お買い求めの販売店にご相談ください
	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	電源コード・プラグの破損	お買い求めの販売店にご相談ください
先端工具が外れる	先端工具の取り付けが悪い	ドリルチャックをしっかり和締めする
	ドリルチャックの故障	お買い求めの販売店にご相談ください